



第26回全国伝統的工芸品コンクール 伝統技術活用・ 研究賞に輝く

第26回全国伝統的工芸品コンクールで、吉崎の東賢一郎さんが「伝統技術活用・研究賞」を受賞されました。東さんの作品「手挽きのこぎり・替刃式超ミニクラフト鋸」は写真の3タイプを含め全部で13タイプが揃います。『女性にとって、一般的なのこぎりは扱いにくい道具の一つ。ところがこの手挽きのこぎりなら挑戦できる。きっと面白がっている色々なものを切ってしまう。』（審査委員コメント）のとおり、その用途は生花、電気工事、精密細工、木目込み人形と様々。東さんは「これからは、もっと外へ出て自分の作品やその技術を表にアピールしていかなければ生き残って行けない時代になっている。消費者ニーズが今どこにあるのかをいち早くキャッチして、様々な人に受け入れてもらえる作品づくりに励みたい」と抱負を語っておられました。



吉崎の東賢一郎さん

広報みしま
3月号 vol.408

発行/三島町役場 [代表:遠藤鐵四郎]
編集/総務課(庶務係)
〒940-2392
新潟県三島郡三島町大字上岩井1261-1
TEL 0258-42-2221
FAX 0258-42-2154
http://www.town.mishima.niigata.jp/
E-mail syomu@town.mishima.niigata.jp

印刷/あかつき印刷株式会社

ダイヤル案内

ガ ス 企 業 団 ☎42-2671
水 道 企 業 団 ☎72-2259
み し ま 中 央 会 館 ☎42-2222
与 板 郷 消 防 署 (齊 場) ☎72-2572
み し ま 交 流 セ ン タ ー ☎42-2223
三 島 町 体 育 館 ☎42-2756

明治十六年六月廿四日 建立
願主 三島郡大野新田 小林 藤蔵
同郡下河根川村 片沼 富七
同郡大野新田 原 佐平太
同郡新保村 片桐道次郎

▶像高(総丈)125cm、
500kg以上あると思われる
町内一の地蔵様。



▶地蔵講の綴り。昭和14年からの
記録が記してある。昭和14年
43銭の寶銭(註)とある。



大野にある 大地蔵様

国道四〇三号の大野地区に、大きな姿の地蔵様が置かれている。道端や辻に、また峠などの石仏の中で一番たくさん、かつまた大小様々に造られているのが地蔵様である。庶民の様々な願いを聞きとどけ、病を治してくれる仏様でもある。そしてまた、それぞれの地蔵様にまつわる話も数多く語られている。大

野の地蔵様の蓮台(れんたい)の下の台座には上記の様に刻んである。「三島郡」の名称が公認され、一つの行政単位として成立し実施されたのが明治十二年四月から。また大野新田と脇野町新田が合併して「大野村」になったのが明治十八年五月であった。そして明治二十二年五月に町村合併・町村制施行で、「吉川村」が成立する。そんな時代である。元々はこの地蔵様、下河根川の片沼富七さん(現富二)が新潟で求めて、下河根川の船付場まで運び、真橋(昨年十二月号「道しるべ」参照)のたもとの茶屋をやって自分の屋敷内にしばらく置いていた。その後、大野の小林藤蔵さんに声をかけ四人の願主で現在地に建立したという。二代富七さんは明治三十年八十三歳で亡くなっているから、当時七十歳になっていた。そもそも、どんなに曰く因縁でこんな大きな地蔵様を新潟くんたりから求めて来たのか、謎である。富七さんに係わるもう一つの話。下河根川の仏生寺の本尊を明治十四年に寄進しており、更に、同十六年六月には大野新田小林藤蔵(蔵)、下河根川佐藤傳治良等と共に経盤(きんぱん)の寄附人として名前が刻まれている。そして同十八年の地蔵様である。とこ

ろで普通よく目にする地蔵様は、右手に錫杖(しやくじょう)、左手に宝珠(ほうしゆ)を持つたものであるが、ここでは、両手に宝珠をかかえている一風変わった姿である。昔、道が西側を向いていた時は、地蔵様も西側を向いていたが、現在の道路が出来て、東側向きにしたという。



▶地蔵様の縁日は毎月24日。
平成13年4月24日のお祭りの日。


大野の四組(かつての長鉄以東、現八軒)は昭和五年に地蔵講をつくり、以来、毎年四月二四日にお祭りを行っている。この地蔵様、かつては子どもが夜泣きに効験あらたかと、あちこちからお参りに訪れたという。柔らかな目元、穏やかな顔つきで、なかなか巧につくられている地蔵様である。

みしまの植物 ②4

アブラチャン (クスノキ科)

方言 不明

種子や樹皮に油分を多く含んでよく燃えることから、油とチャン(ピッチャやコールタール等を総称する「瀝青」の英語の一部)を合わせた名がついたといわれる。町内の山地から人家近くの山裾まで普通に見られる。春早く葉よりさきに短い柄の先端に三〜五個の小さな花が固まって咲くが、マンサクほど目立たない。雌雄異株で雌株にはビー玉ほどの果実がなり、秋熟すと種子が出る。



撮影日 一九九三年四月三日
場所 鳥越字唐崎
(写真・文 奈良場正二)

三島町生涯学習推進計画

「みしまわくわく夢プラン」が答申されました

2月19日（火）、生涯学習推進会議が開かれ、この席で「三島町生涯学習推進計画」の答申書が原和夫生涯学習推進会議会長から遠藤町長（生涯学習推進本部長）に手渡されました。

このプランには、生涯学習（家庭教育、学校教育、社会教育）を総合的・体系的に推進するために、平成14年度から23年度までの10年間（ただし、実施計画は5年間）の計画が盛り込まれています。

今後は、生涯学習推進本部会議での審議を経て、正式に三島町生涯学習推進計画として決定されます。



生涯学習推進目標

人の和・対話・学びの輪

生涯学習スローガン

- ① み つけよう 自分の生きがいを〔生きがいつくり〕
- ② し りあおう 多くの仲間と〔仲間づくり〕
- ③ ま なびあおう いつでもどこでも〔学びの輪づくり〕

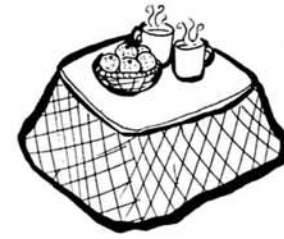
みしまの昔話の情報提供 ありがとうございます

広報みしま1月号で「三島町に伝わる昔話」の情報提供をお願いしましたところ、次の方々より貴重な情報を寄せていただきました。

- ◆西山一夫さん…「経塚猿塚庵」
- ◆小方善一さん…「三枚のおふだ」「サルドンと娘」「ヌカとコメ」その他、遊び歌や口答伝承などを多数
- ◆小熊栄一さん…「明治時代のだしあいの話」
- ◆難波チヨさん・星野洋一さん…「中永集落の沿革」「耳のある白蛇・伝説の白蛇」「惣天坊の由来」
- ◆星野洋一さん…「カッパからもらった刀」「じゃんげ（じゃのげ）の滝」「一の沢の大蛇」

※これからも昔話に関する情報がありましたら、教育委員会・五十嵐までお知らせください。

《連絡先》 TEL 42-2221 内線334 / FAX 42-3435



2月9日（土）～10日（日）、マウンテンパーク津南スキー場にて、「親子スキーのつどい」を行いました。

1日目は、雪が降り続くあいにくの天候でしたが、4つのグループごとにスキースクールの先生によるレッスンを受けました。中でも、小学生の初心者グループは、約2時間のレッスンで目に見えて上達し、初めは恐る恐る滑っていた斜面も自信をもって滑れるようになりました。

2日目は、天候も回復。家族や友達と思い思いのシニールを描きながら、広いゲレンデを存分に滑り、スキーの楽しさを満喫しました。

存分にスキーを楽しんだ2日間

親子スキーのつどい





ジャンケンピラミッド



フラフープくぐり

親子・兄弟…が心と力を合わせて

レクリエーション大会

2月23日(土)、町公民館主催、町体育協会後援の「親子でチャレンジ! パート6 レクリエーション大会」が行われました。子どもから大人までの混成チームを6チームつくり、フラフープくぐり、ジャンケンピラミッド、ジャンボカルタとり、しっぽとりゲームなど、6つの競技で順位を競いました。

ジャンボカルタとりでは、少しでも早く取ろうと、カルタめがけてスライディングをする小学生もいました。また、最終種目のしっぽとりゲームでは、腰から下げているしっぽ(ロープ)を相手チームにとられないよう、息を切らしながら必死で逃げ回るお父さん・お母さんの姿が印象的でした。

当日は、学生ボランティアの片野潤一さん、穴沢健太さん、太田和良さんの3名が各チームのキャプテンとして参加し、大会を盛り上げました。



優勝した青チーム



ジャンボカルタとり

籐のつるから素敵なかごが生まれる

ふるさと講座・オープン講座

2月8日・12日・14日の3日間、交流センターを会場にかご編みの講座が開かれました。

講師の田口耕作さん(上岩井在住)の指導のもと、参加者は籐のつるを1本1本丁寧に編み、自分の思い描いた形になるようにかごづくりを熱中していました。



できあがった作品は、右の写真のとおり自然の素材ならではの風情と手作りの温かさが感じられ、花生けや果物入れなどにぴったりのかごとになりました。

大勢で踊る楽しさと心地よさを…

女性セミナー・オープン講座

2月上旬から下旬にかけて、「楽しく踊ろう・民謡」が行われました。

この講座には、毎回50名前後の方が参加。講師の稲垣悦子さん(鳥越在住)より「雨よ恋よ」「花しぐれ」「真っ咲き音頭」「佐渡こいおけさ」という4曲の踊り方をわかりやすく教えていただきました。

4回の講習を通して、参加者は、曲に合わせて大勢で踊る楽しさや心地よさを味わうことができたようです。参加した方の中には、家でも繰り返し練習して、踊り方を完全に覚え、地域のボランティア活動の場面でも生かしていきたいという意欲的な方もいました。



CALENDER

3月 MARCH

16 土	
17 日	
18 月	にこにこクラブ 9:30 中央会館 オープン講座「紙すき体験」 13:30 臨野町小学校
19 火	いきいき広場 9:00 デイサービスセンター 新保なかよしクラブ 9:00 新保集落センター いきいき健康講座 9:30 デイサービスセンター 心配ごと相談 13:30~15:30 中央会館 陶芸教室⑤
20 水	ふるさと講座・女性セミナー閉講式 13:30 交流センター
21 木	春分の日
22 金	国連水の日 小学校卒業式 中学校終業式 乳児相談 (H13.5.~H13.6./H13.11~H13.12出生児) 9:00~9:20受付
23 土	世界気象デー 先生はおじいちゃん!おばあちゃん! 「土器づくり」(2回目)
24 日	世界結核デー
25 月	瓜生くつろぎ会 9:00 瓜生集落センター
26 火	心配ごと相談 13:30~15:30 中央会館 ポリオ (H13.1~H13.12出生児) 13:45~14:30受付
27 水	
28 木	国民健康保険税 国民年金保険料 下水道使用料 高齢者リハビリ 9:00 保健センター 口座振替日
29 金	
30 土	
31 日	

⑤は乳幼児保健行事です。会場はいずれも保健センターです。
3~4か月乳児相談の時、乳児健診無料券、神経芽細胞種検査セットをお渡ししますので、必ずおいでください。

3月1日現在
()内は前月比



4月 APRIL

1 月	春季における都市緑化推進運動 (~6月30日)
2 火	心配ごと相談 13:30~15:30 中央会館
3 水	
4 木	
5 金	
6 土	春の全国交通安全運動 (~15日)
7 日	世界保健デー
8 月	日吉小学校 臨野町小学校 三島中学校 } 入学式
9 火	心配ごと相談 13:30~15:30 中央会館
10 水	平成14年度高齢者生きがい講座開講式 13:30 交流センター
11 木	
12 金	乳児相談 (H13.7~H13.8/H14.1出生児) 9:00~9:20受付
13 土	
14 日	
15 月	科学技術週間 (~21日)
16 火	心配ごと相談 13:30~15:30 中央会館
17 水	
18 木	発明の日
19 金	



しあわせは
明るく正しい
選挙から

三島町選挙管理委員会

ご芳志ありがとうございます
●10,000円
(匿名希望)

国民健康保険の届出はお済みですか?

みなさんがお医者さんにかかる時、保険証の変更はありますか? 職場の健康保険に加入したり、やめたりしたときは、国民健康保険への手続きが必要ですが、もし、そういった場合には次のものを用意して、役場町民課まで手続きにおいでください。

- 国民年金手帳
- 職場の健康保険をやめた証明書
- 国民年金帳
- 国民健康保険をやめたときに加入した場合は、加入していた国民健康保険に加入していた職場の健康保険証

退職者医療制度について (国民健康保険)

69歳以下で厚生年金保険や各種共済組合の年金を受けている方のうち以下の方は退職者医療制度に該当します。

- 40歳以上で年金加入期間が10年以上ある方
- 加入期間のわかる年金証書と国民健康保険証を持って役場町民課まで手続きにおいでください。

この制度は本人の医療費の一部負担金が2割となるものです。▼年金加入期間が20年以上ある方

昨年から介護保険制度が始まり、国民健康保険の制度も変わ

LETTER 【広報写真クイズから】

生涯学習マスコットキャラクターはすごくかわいいものにきまり良かったと思います。◆最近犬のフンのしまつをやっている人、雪の上ならだじょうぶと思っ

ていのかもしませんが、家の前にフンが2か所、道路にもおちていて、子供達が学校へ行くのにふんでしまったら…。もう少しまわりのことも考えてほしいものです。(30代・女性) ▶「三島町の歴史」をいつも興味深く読んでいます。今は受験生ですが、受験が終わったら、郷土資料館にも行ってみたいと思います。様々なイベントなどのお知らせも載っていますが、コラムのようなものや、豆知識のコーナーのようなものがあるととっても楽しくなると思います。(10代・女性) ▶日本ではまだまだ低い年休(有給休暇)消化率とのこと。休暇をとることも仕事をする事と同等な価値をもつという欧米先進国の考え方はさすがだと思いますし、早く追いつき追い越したいものです。(60代・男性)

国民健康保険税の納め忘れはありませんか?

理由もなく国民健康保険税の未納付が続く世帯は、被保険者証を、一時、お返しただく場合もあります。未納のある世帯主の方は早めに納めましょう。

■町民課
☎42-2221 内線244

平成13年度下水道使用料、負担金の納め忘れはありませんか

3月28日(木)は下水道使用料の3月分の納期限です。下水道をご利用の方は、下水道使用料及び下水道事業受益者負担金の納入通知書が届いたら納期限までに忘れずに最寄りの金融機関に納めましょう。また、納付は便利で確実な口座振替をおすすめします。納期ごとに金融機関に出向く手間がなくなり、納め忘れの心配もありません。口座振替の申込申請書は町内各金融機関の窓口にあります。預金口座のある金融機関でお申し込みください。口座振替のできる金融機関は北越銀行(三島支店、長岡市内の本店及び各支店)、越後さんとう農協、郵便局となります。口座振替の開始はおおむね申請書を提出した翌月の末日の納期分となります。▼金融機関に持参するもの↓預金通帳、届出印

三月俳句 (紅葉吟社)

◎スーパリーの切り身の鱈を買いにけり 結城 老松

一匹の鱈さまさまな味料理 小林 終子

東京に子の帰る日の名残り雪 中村 遊雲

春日差とかで喰るチエンソー 木戸 忠津

誰もこぬ終の住家に雪積る 難波 千代女

耳達き明治の母や冬の雷 丸山 むつ

節分の夜明けけり猫の鳴きどうし 遠藤 カズ

豆撒けり拾う子の無き大広間 桜井 草子

無造作に蹄の頭を盛られけり 原 遊子

春浅き桐口の湯に誘われり 稲垣 和江

鬼踊り豆撒く子等に故郷平和 安達 南風

銀行の呆れしアネモネ開きけり 大滝 蒼風